

平成26年度 第2回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成26年11月17日(月)午後2時00分から午後3時05分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 会議室
- 3 出席者 青木和浩会長 富所正史副会長 伊東勝正委員
齊藤輝一委員 梅澤章子委員 齋藤奈智子委員
秋山 剛委員 五十嵐靖宏委員 本郷美代委員
- 4 欠席者 吉野高明委員
- 5 事務局 スポーツ振興課 渡邊課長 岩井副主幹 村越主査補
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局

2. あいさつ 青木会長

3. 議 題

<議長 青木会長>

(1) 印西市スポーツ行事補助金について

- ・平成26年度印西市スポーツ行事補助金交付実績
- ・平成27年度印西市スポーツ団体・スポーツ行事補助金(計画)

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) 各行事の市内参加者と市外参加者の状況について

(事務局) 千葉県ラクビー祭については、一般観戦無料のため、市内外観客等については把握していない。六軒相撲については、市内の小学生対象で実施。それからバスケットボールについては、選手内訳の中に早稲田大学、順天堂大学の学生、市内中学校のバスケットボール生徒も参加している状況である。最後に印西室内棒高跳びについては、これから開催のため、市内外参加者の状況を把握したいと思っている。

(委 員) 平成27度のスポーツ行事計画について3事業となっているが、バスケットボール等は入ってくるのか。

(事務局) 平成27度スポーツ行事補助金について、体育協会等に照会を行ったところ、スポーツ行事補助金要望は3事業のみであった。なお、バスケットボールについては、平成24年度から3年を終了したことで、実行委員会より平成27年度から補助金を利用しないで、自立して実施してみたいとの話があり、予算要求はしていない。

- (委 員) スポーツ行事補助金について、過去に一度要望したが予算が認められなかった、しかし行事自体は予定を決めたら中止するわけにはいかない、申請や許可等手順を踏んでの準備を進めるため、期間を要することとなる。補助金の決定について、年末とのことだがもう少し早くならないか。
- (事務局) 11月に予算要求して、翌3月の議会で決定することとなる。9月頃まで計画していただき要望をあげてもらうことから始まる。しかし、あくまで予算要求のため要望どおり認められるかどうかは即答できない状況である。また、決定を早めることは難しい状況である。
- (会 長) 都内の自治体等では予算要求の当初のプレゼンで要求を落とさせることがある、また他市は早めに決定する自治体もあるが、印西市の場合はどうか。
- (事務局) 現在、予算要望を精査し財政部局に提出している状況である。年内に内示があり、翌3月議会で確定となる。
- (会 長) 時期を早めて決定することは現状だと難しい状況であると思われる。また、予算を仮に100万円程度確保して後で割り振ることも難しいと思われることから、市体育協会等が主導で行い、余剰金等で対応するとの策はあるか。
- (委 員) 市体育協会も余剰金等は少ない。現状だと各団体から行事補助金の要望が出しづらい状況である。
- (会 長) もう少し自由がきくとよいが。行事補助金の要望の数も少ない状況なので。
- (事務局) 今後改善できればと思っている。

(2) 総合体育館施設利用について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

- (委 員) 目的外活動について、要望があったのかそれとも、稼働率等を考慮し検討したのか。
- (事務局) 卓球愛好者から要望があり、諮問した。近隣の市には卓球室等が設置されており、松山下体育館にも、もう少し活動しやすい場所として、武道場の板の間を、個人利用で来たとき手軽に卓球等で使えるようにならないかとの要望であった。
- 近隣の状況だが、色々なスポーツに活用されている状況である。基本的には武道場は武道をする場所で、施設管理する上で床を傷つけなければ利用を認めてもよいのではないかと考えている。今の卓球台等はキャスターが付いているため容易に出し入れができると思われるが、内壁を破損する恐れのあるフットサル等については難しく、内容に応じて開放していければと思っている。ただ、利用率からみても、土日は武道場に限らず50パーセントを超えて過密化しており、平日の夜間等についても団体等の利用が入っているので、個人利用については、曜日や時間を含め考慮する必要があると思っている。
- (委 員) 卓球台は何台くらいおけるのか、収納場所は。
- (事務局) 3台くらい置けると思っている。武道場の用具倉庫に収納場所は確保できる。

- (委 員) 卓球以外で使用予定はあるのか。
- (事務局) 今のところ予定はないが、バドミントン等ではポール等が必要になってしまうので難しい状況で、スポーツ種目としては限定されると思われる。利用内容等を確認し対応していきたいと思っている。
- (委 員) 床を傷付けないのであれば有効に活用したほうがよい。
- (会 長) 団体の利用についてはどうか。
- (事務局) 団体登録は5名以上が条件であり、3日前までの予約が必要となる。団体登録を認め事前予約を可能にすると、本来の武道団体等の予約が取れない可能性を考慮し、基本的には個人利用とし、空いていれば利用可能となるよう考えている。
- (委 員) 卓球大会が入っていた場合、個人利用は可能か。
- (事務局) 武道場が空いていれば可能である。
- (委 員) メインアリーナの稼働率の中に卓球競技は入っているのか。
- (事務局) 卓球も含んだ稼働率になっている。
- (会 長) 取り決めや運用については、事務局で検討してもらい、空いているスペースを市民等が利用することは良いことだと思う。

(3) その他

- ①学校プール開故事業実施報告
- ②煌めく青春南関東総体2014事業実施報告
- ③関東大学女子駅伝対校選手権大会事業実施報告
- ④スポーツフェス2014事業実施報告
- ⑤クライミングワールドカップ2014 INZAI 大会事業実施報告

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

- (委 員) 学校開放について、行ったのは3校だけなのか。
- (事務局) 市内小学校20校あり、永治小学校はプールが使用できない状況で実質19校のうち3校、開放校が少ない理由は、PTAや地元の団体より、監視員等を毎日最低でも5名程度配置しなければならないこと、また、事故等の責任問題等があり、26年度は3校、25年度は第一小、滝野小学校2校の開放となっており、実情は大変少ない状況である。
- (委 員) 協力がある学校だけが行っている状況か。
- (事務局) そのとおりである。
- (委 員) その他各大会とも駐車場の状況は、十分間に合ったのか。
- (事務局) 駐車場は、空手道大会インターハイについては、資料6ページのとおり大型バスの乗り入れもあり、松山下公園だけでは対応できず、臨時駐車場を用意して対応した。その他の大会等では、公園内の駐車場で対応できた。
- (委 員) 会場まで来て駐車場が満車で、遠くの臨時駐車場に廻され、競技等をみるまでに非常に時間がかかったとの話も聞いており、公園駐車場が少ないのではないかと。

- (委 員) 他のスポーツ行事があるとテニスコートがクローズになってしまう。特に土日が多く、土日休みなのにテニスコートが使えない状況である。駐車場が不足しているのは理解しているが、何か解決策はあるか。
- (事務局) 体育館、テニスコート、陸上競技場、野球場と施設があるが、大きなイベントを抱えると、約300台強しか駐車場がないためクローズすることとなる。来場者等からも同様な話があり、今後市の検討課題だと考えている。
- (委 員) 印西市内のテニス施設はどれくらいあるのか。
- (事務局) 23面あり、松山下公園は8面である。
- (委 員) 松山下公園以外の施設案内はしているのか。
- (事務局) 施設案内はしているが、テニスの利用率は高く9割ぐらい予約で埋まってしまう状況である。
- (委 員) 基本方針でもあるように、大きな大会を支える施設であることを、うたっていてはどうか。ただ、こちらを立てるとあちらが立たない、というような状況になってしまう。
- (会 長) テニスについては、どこの市においても利用状況が多い状況で、これからもっと多くなると思われる。

・順天堂大学の近傍について

- (会 長) 先程事務局より説明があった、女子駅伝については、女子部は今まで、関東大学女子駅伝の予選を通過していたが、昨今他大学が強化しており、大東文化大学がすごい力で、東洋大学も脅威となっている。印西市で開催している関東大学女子駅伝のレベルが上がってしまったことが正直なところである。ただ全国に行くと立命館など関西が強い状況である。
- 2020年の東京オリンピックについての経緯のなかで、来年北京で世界陸上があるが、各国の事前キャンプを日本で行うとの話がある。
- なぜかというところ東京オリンピックに向けての準備のため、千葉県と協力し、また、今後市とも連携していくこととなるが、アメリカ、オランダ、ベルギー、カナダのチームが視察を行っている。成田市の近隣でスポーツのできる施設はどこかと検討。順天堂大学に関しては、施設等がそろっているため、合宿地には最適であることから、2020年のスタッフ等が大学の視察を繰り返している。福岡市はスウェーデンのキャンプ地に決定している。そういったことから、諸外国の間では2020年東京オリンピックに向けての動きが出ている。先般アジア大会、韓国（仁川）で開催され、体操がメダルを取ったが、順天堂大学チームは参加していない。なぜかというところ世界大会に参加しており、そこで加藤（埼玉）、野々村（千葉の市立船橋出身）が健闘した。また、陸上では、1年生の山本くんが三段跳びで7位、短距離100mで富士通にいる順天堂大学OBの高瀬氏が銅メダルをとった。陸上と体操についてはアジア大会等で活躍しており、大学としてはスポーツ面に関して色々な形で貢献できているものと考えている。箱根駅伝については、先般の全日本大学駅伝は8人走り区間は約10Kmのコースで成績が9位で意外によかったと思っているが、箱根について、走者2人

加わり10人、距離が約20kmと倍になる。全日本では、駒沢大学が快勝しているが、そうは簡単に行かないと思う。2人増え距離が倍となると、後半10kmで3分から4分はひっくり返ってしまう。また、以前はよくあったが、昨今は20数校走っているが繰り上げスタートが少なく、4番手から13番手くらいまでは非常に均衡している。区によって順位の入替が多い状況で、駅伝を見るのはむしろ先頭をみるより中盤の順位等変動を見てほしい。最近のデーター放送はすばらしく、例えばお気に入りに入り順天堂大学等を登録すると、順位変動や区間順位等を確認できる。なぜ、データーを出せるかという点、選手の靴にチップが内蔵されていて、そのチップを通過地点のセンサーが読み取ってタイム等を記録しているからである。順天堂大学は、箱根駅伝の3位以内は難しい状況ではあるが、先程のとおり、4位以降は均衡しているため、上位入賞の可能性は大いにある。もうひとつの見どころは、5区の山の上りで、5分から7分をひっくりかえす可能性がある。平地ではあり得ない。現在順天堂大学ではだれが山を上りを走るか検討している。他の大学も最終エントリーが12月であることから、生き残りをかけたセレクションの真最中である。12月上旬に決定され、各メディアで発表される。順天堂大学も出場するので、ぜひとも叱咤激励をいただければと思う。

・その他

- (会 長) クライミングのワールドカップに順天堂大学の学生も見に来たのだが、非常に面白かったと聞いている。最近クライミングが流行っており、松山下はクライミングのメッカになりつつあり、良いことだと思う。また、スポーツフェスのスラックラインについては、どんな競技か皆さん知っているか。
- (事務局) 5センチ幅の布のベルト上を、バランスを取りながら、歩いたり、向きを変えたり、跳ねたりするスポーツである。
- (会 長) 最近、流行っており、高齢者から子供までできるスポーツで、参加者が増えていることから、ニュースポーツとして根付いてきていると感じている。

4. 閉 会